

平成25年度愛知県・稲沢市総合防災訓練へ参加

県と稲沢市合同の総合防災訓練が、南海トラフ巨大地震が発生し、震度6強の揺れで市内に大きな被害が発生したとの想定で、77機関2,800名の参加で行われました。連合会も県内5生協と一緒に緊急物資輸送の訓練に参加しました。

日時 平成25年9月1日(日) 午前8時30分から午後0時15分まで
場所 サリオパーク祖父江(稲沢市祖父江町)
主催 愛知県・稲沢市



愛知県、愛知県警察、稲沢市、稲沢市消防本部、自衛隊、指定地方行政機関
近隣消防機関、ボランティア団体、地域住民等 77機関、2,800人参加

訓練テーマ

自助、共助そして公助へ ～つながる地域の防災力～

重点事項

- ・地域住民と防災関係機関が連携した救出救助訓練
- ・河川遡上を想定した水難救助訓練
- ・避難所の運営及び救護所の設置訓練
- ・支援物資に係る受入・搬送訓練
- ・市民や地元企業を対象としたシェイクアウト訓練



訓練想定

南海トラフ巨大地震が平成25年9月1日(日)駿河湾から日向灘を震源地として発生した。東海地方から西日本の広い範囲で非常に激しく揺れ、稲沢市では震度6強を観測した。この地震により、市内では倒壊した家屋等の下敷きになった人がいるとの情報があるほか、津波による河川遡上、火災の発生、道路等の損壊や、電気、通信、ガス、水道等のライフラインなど、各地で甚大な被害が発生している模様



訓練参加生協

一宮生協、コープあいち、トヨタ生協、あいち生協、かりや愛知中央生協
生活クラブ生協(各トラック1台、要員2名)及び連合会(備品配送車1台、要員3名)



- ・県から要請のあった応急物資を指定の集積場へ届ける。
- ・集積場で連合会職員及び支援の生協職員が納品書を受け取り、ボランティア高校生・県庁職員と一緒に応急物資をトラックから降ろす。
- ・降ろした応急物資を避難所に配送するため別のトラックに積み換える。
- ・各トラックは指定の避難所に出発する。

